

ご主人さまに命令  
したく  
ありませんっ！



お買い上げ

ありがとうございます

ございます!!

~~ヤ~~ク



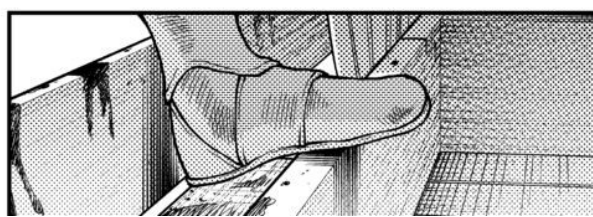
← 本編スタート



きっと  
いつまでも  
忘れません



あの日  
あの方に  
会えたことは





安心  
しろ

ここは  
もう俺の  
土地だ

帰ろう



その後  
領主さまは  
約束を守って  
くださり

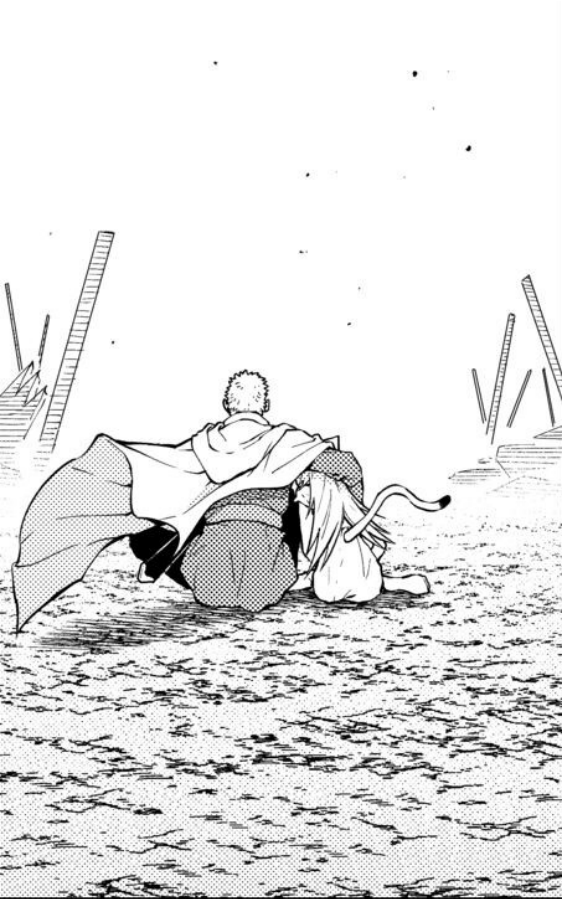


勝手は  
許さん



私達は故郷へ  
戻る事が  
出来たのですが  
……

その人は  
この土地の  
新しい領主さま  
でした



故郷を  
失った私は



領主さまに  
メイドとして  
雇っていただき  
ことになりました





小さな屋敷に  
私と二人暮らし

私を救って  
くださった  
恩人との  
二人だけの生活



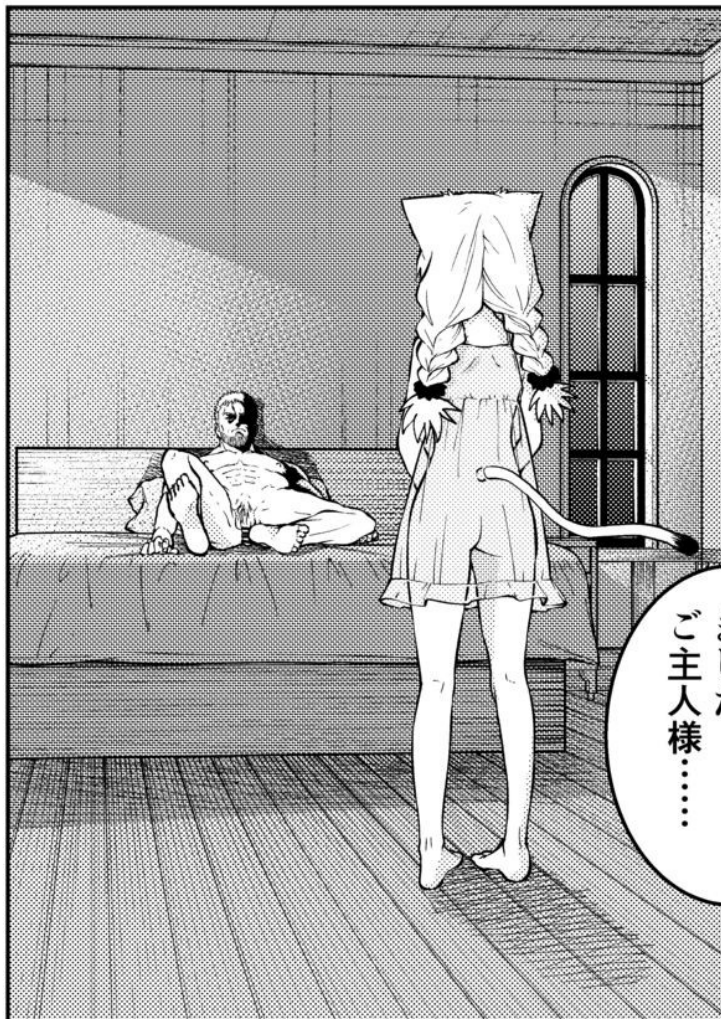
その後領主さまは  
その強さと  
優しさから  
快く領民に  
受け入れられ



好きにならない  
ハズが  
ありません  
でした



そんなの



ギィ...



お待たせいたし  
ました  
ご主人様……

そして  
一年が経ち



私は夜の奉仕も  
させていただける  
ようになりました

今夜もサラを  
たくさん  
お使い  
ください♡

サラ…

ご主人さま  
……♡

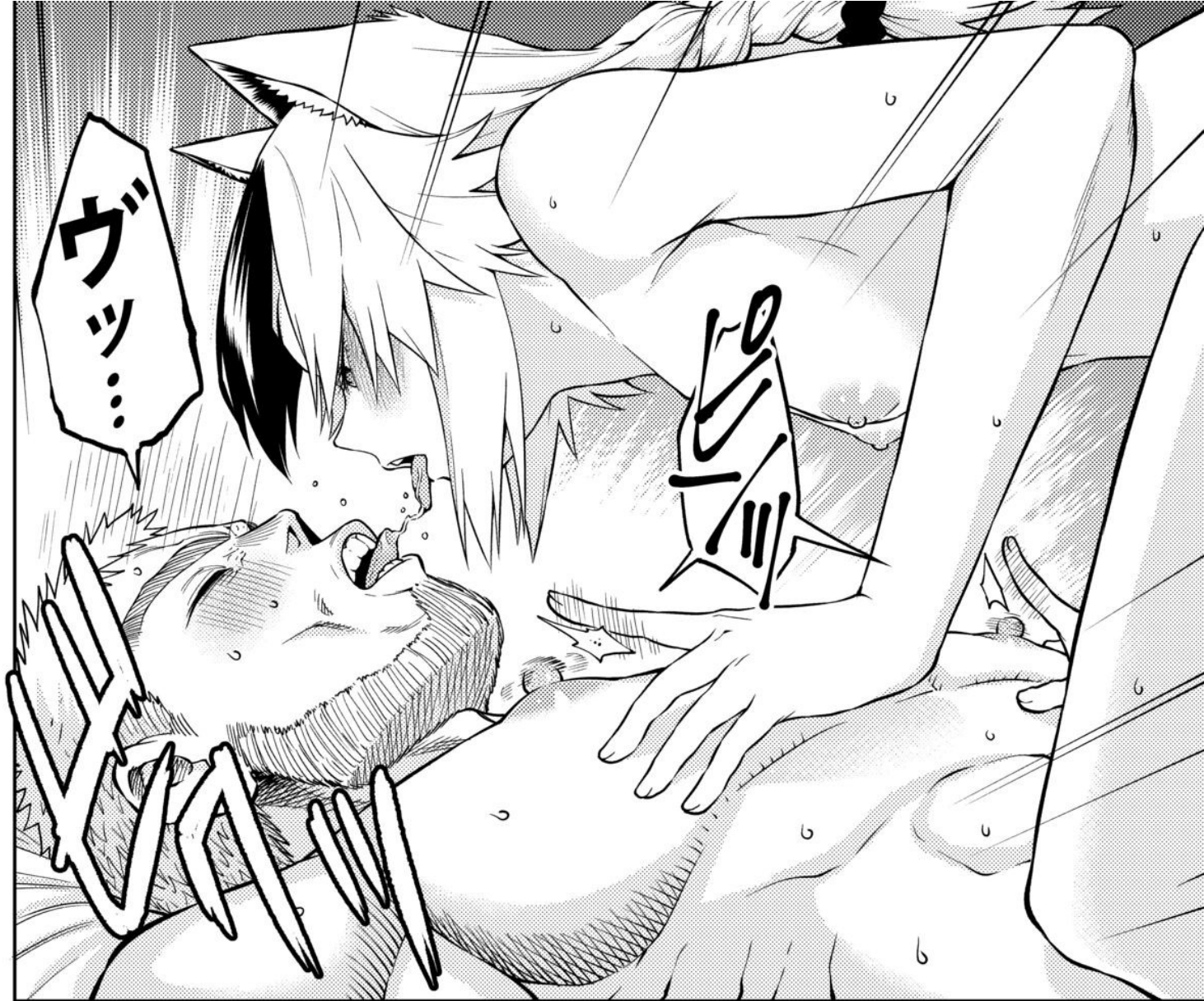
来い  
サラ

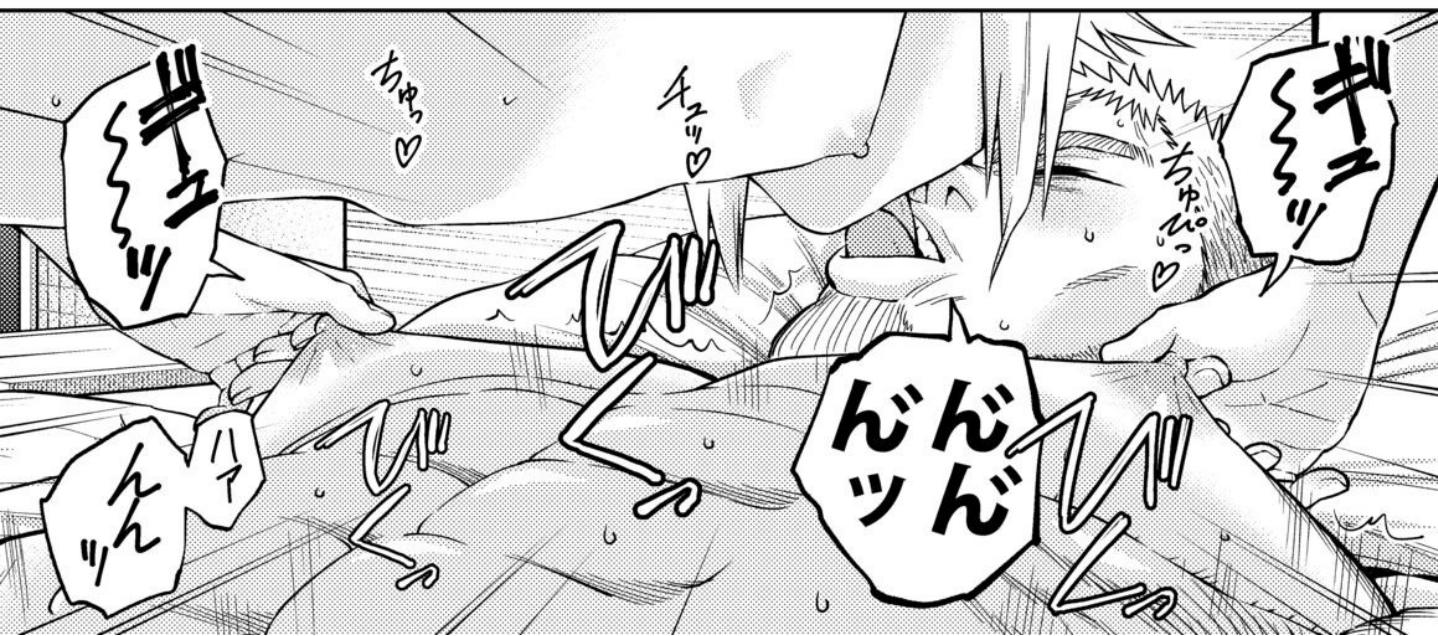
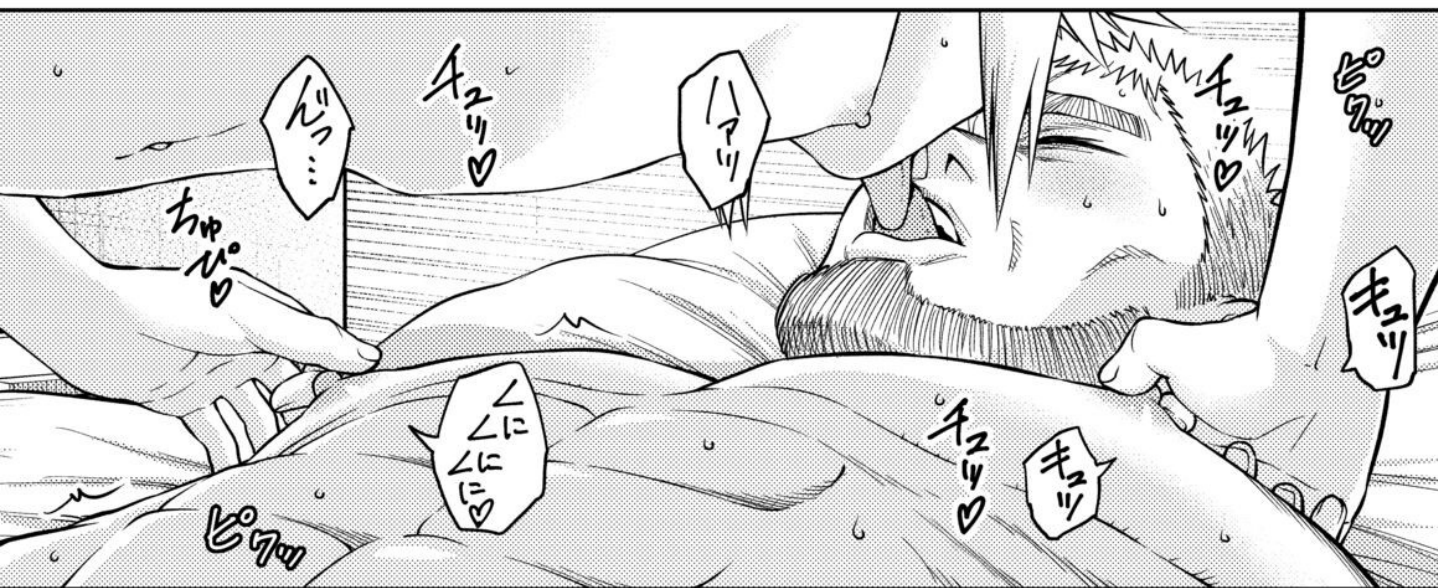
ギッ

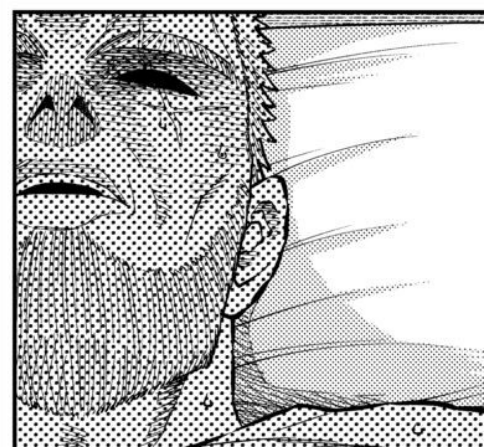
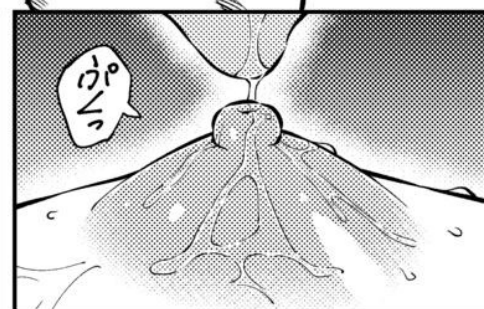
はい…♡  
失礼します♡



























二

しほり  
出せ

ザコチンポ  
もつと  
もらせ

こんな親子ほど  
歳の離れた  
女の子に……

身分の低い  
獣人の  
メイドに

なさけない  
イキ顔見せ  
ながら……

イケツ…♡

千々





もおく  
ご主人  
さまっ

それは

サラはもう  
ご主人さまに  
「命令」したく  
ありません  
~~~~ッ!!

ご主人  
さまが

「自分より  
立場の低い  
女の子に射精  
命令されたい」  
という性癖の  
持ち主な事です

おそれ  
おおいっ…

なぜだ

それが  
いいんじや  
ないか

えっん!

もおくっ  
ご主人さまの  
へんたいっ!!

そういう  
のもいいな

…まあ  
それでも  
ご主人さまが  
好きだから

これから  
付き合っ  
ていくん  
だろう  
なあ……